【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和6年6月5日(2024.6.5)

【国際公開番号】WO2023/058587
【出願番号】特願2023-552858(P2023-552858)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ 21/14(2006.01)
Ｇ０３Ｂ 21/00(2006.01)
Ｆ２１Ｓ 2/00(2016.01)
Ｆ２１Ｖ 7/28(2018.01)
Ｆ２１Ｖ 9/14(2006.01)
Ｆ２１Ｖ 9/35(2018.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ 21/14 Ａ
Ｇ０３Ｂ 21/00 Ｄ
Ｆ２１Ｓ 2/00 ３１１
Ｆ２１Ｖ 7/28 ２４０
Ｆ２１Ｖ 9/14
Ｆ２１Ｖ 9/35

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月11日(2024.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本開示に係る光源装置は、第１の波長域の光である第１の光を出力する光源素子と、第１の光が入射する位置に配置され、入射する光の入射方向と反射方向で規定される第１の直線偏光の成分を透過させ、第１の直線偏光の成分の振動面と直交する振動面を有する第２の直線偏光の成分を反射させる第１の選択反射素子と、第１の選択反射素子を透過または反射した光を受ける位置に配置され、入射光を入射光の波長域に応じて透過または反射させる第２の選択反射素子と、第１の選択反射素子と、第２の選択反射素子との間に配置され、第１の選択反射素子を透過または反射した第１の直線偏光を楕円偏光に変換する第１の偏光方向変換素子と、を備える。第１の偏光方向変換素子は、第２の選択反射素子に反射され再び第１の偏光方向変換素子に入射する楕円偏光を、第２の直線偏光に変換する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８６】
実施の形態６における投写型映像表示装置１０１Ａは、いわゆる３チップ方式の投写型映像表示装置である。なお、３チップＤＬＰ方式は、今回のデバイスを使用する投写型表示装置の例であり、表示素子の数は３以外であってもよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１１】
（実施の形態の概要）
（１）本開示の光源装置は、第１の波長域の光である第１の光を出力する光源素子と、第１の光が入射する位置に配置され、入射する光の入射方向と反射方向で規定される第１の直線偏光の成分を透過させ、第１の直線偏光の成分の振動面と直交する振動面を有する第２の直線偏光の成分を反射させる第１の選択反射素子と、第１の選択反射素子を透過または反射した光を受ける位置に配置され、入射する光を波長域に応じて透過または反射させる第２の選択反射素子と、第１の選択反射素子と、第２の選択反射素子との間に配置され、第１の選択反射素子を透過または反射した第１の直線偏光を楕円偏光に変換する第１の偏光方向変換素子と、を備える。第１の偏光方向変換素子は、第２の選択反射素子に反射され再び入射する楕円偏光を、第２の直線偏光に変換する。